

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	指定生活介護すてっぷ			
○利用者等評価実施期間	令和6年10月1日 ～ 令和6年10月31日			
○利用者等価有効回答数	対象者数	14人	回答者数	14人
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日			
○従業者評価有効回答数	対象者数	7人	回答者数	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること。※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	資格取得者の配置(介護福祉士、強度重度支援、OT等)	利用者一人ひとりの特性に応じた支援を行っていること。	環境整備や一人ひとりに寄り添った支援を行っていること。
2	障害児者福祉のスペシャリスト(OT)への相談による支援の充実	来所時に課題の状況を伝えて相談し指導を受けていること。	相談し指導を受けた事の実践を行っていること。
3	小規模であり、家庭的であること。	毎日利用の方も多く体調などの把握もしやすい。タイムラグなく迅速な対応を心掛けていること。	家族との綿密なコミュニケーションを図ることと利用者の立場で考える様にしていくこと。

	事業所の弱み(※)だと思われること。※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動室等のスペースが狭く感じられ、個室が不足していること。	大人の大きい方々に対しては狭く感じる。車椅子での移動を考えると狭く、老朽化による修繕や増築等が必要になっていること。	出入口の拡張や雨天時にも使用できるウッドデッキへの改修
2	経験の浅い職員が多いこと。	毎日の経験の積み重ねが主で学びの機会が少ないこと。	これまで以上に研修や勉強の機会を増やすこと。
3			